

一般質問

■保育士・介護・障害福祉職員への対応について
処遇改善補助金の周知の状況は？

質

保育士・介護職など人を扱う仕事は、業務量や責任の重さがコロナ禍で一層増しており、政府は、重労働になりがちな保育士や介護・福祉職員の待遇改善のための賃金を引き上げる補助金を交付することを決めた。

公立に比べて、人材が集まりにくく離職率も高い私立のこども園にとつて、人手不足の解消や離職の防止には賃金の改善が最も効果的である。そこで、この処遇改善補助金を、地域の事業所に周知させるための広報活動を実施しているのか伺う。

答

処遇改善補助金は、各事業所が石川県に補助金申請を行うこととなっており、制度の周知は石川県が行うこととなっている。

七尾市が指定している認知症グループホームや小規模多機能型居宅介護施設などの地域密着型サービス事業所（全22事業所）には、2月1日に国の通知文書を送り届けている。

また、児童福祉施設の保育士等の処遇改善補助金は、市町村を経由し各事業所に交付することとなっており、今会議に所要の補正予算を提案している。また、国の実施要綱に基づき、事業内容や申請方法を今会議後すみやかに手続きが進められるように、あらかじめ法人立保育園等には園長会議で説明を終えており、放課後児童クラブには文書により通知している。



西川 英伸 議員 (新国会)



山花 剛 議員 (無会派)



ノンステップバス

一般質問

■高齢者の免許返納に関する交通整備について
新たな交通の検討を！

質

高齢者の免許返納に関する交通整備について、前回の答弁でデマンド交通の話があった。そこで、次の3点について伺う。

- ①デマンド交通は現在どこまで進んでいるのか。
- ②新しい交通の周知はどのように行うのか。
- ③新しい交通も必要であると思うが、のと鉄道のバリアフリー化などの既存の交通手段の改善について。

答

①現在、デマンド交通は、バス路線の廃止に伴い交通空白地となっている南大谷地区で行っている。令和4年度には、新たに地域公共交通計画を策定することとしており、地域の現状や移動ニーズを調査しながら、他の地区でのデマンド交通等の実施についても検討する予定である。高齢者が免許を返納しても困らないようしっかりと計画を実施していきたい。

- ②策定された計画は広報・ホームページ・ケーブルテレビなどで周知を行っていく。
- ③のと鉄道株式会社のほうで計画し、実施している。これまでの整備の例は下表のとおり。

【既存交通手段のバリアフリー化の例】

のと鉄道	・車両に車椅子対応のトイレやスペースの設置【のと鉄道株式会社】 ・能登中島駅、田鶴浜駅などに車椅子対応のトイレを整備【七尾市】
コミュニティバス	・乗り降りが容易なノンステップバスに変更【七尾市】 ・ステップや手すりの設置【七尾市】

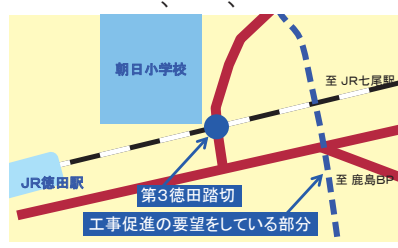
一般質問

■県道池崎徳田線の改良工事促進について
工事促進のための働きかけを！

質

一般県道池崎徳田線は、これまで地元住民、朝日小学校PTAや保護者から何回となく要望しているが一向に工事が進まない。

この道路は、朝日小学校、七尾中学校、七尾東雲高校への通学路であり、市道徳田18号線、国道鹿島バイパスとの連絡道路としてとても重要な道路であり、この工事を一日でも早く進めるよう石川県に強く働きかけをしていただきたいが、市長の見解を伺う。



答

石川県が管理する一般県道池崎徳田線では、朝日小学校付近の第3徳田踏切の抜本的な安全対策が計画されている。その一部区間の用地は石川県名義であるが、用途の制約があり、石川県だけの判断で工事を行うことができないと聞いている。

今年度、七尾市と七尾市議会とが一体となって改良工事が進むよう石川県に要望を行っており、今後も引き続き石川県と協力していく。

なお、七尾東雲高校から第3徳田踏切までの区間は通学路となっており、歩行者の安全を図るため、現在の高校の正門付近で道路を広げ歩行区間を確保する工事が進められている。



徳田 正則 議員 (新国会)



第3徳田踏切